

2024年 世界ジュニア選手権選考要項

1 派遣大会

世界ジュニア選手権大会（ブラジル・リオデジャネイロ）  
2024年11月24日（日）～12月1日（日）

2 選考対象大会

- a 全国中学校水泳選手権大会（以下、全国中学と記載）  
令和6年8月17日（土）～8月19日（月） 石川県・金沢プール
- b 全国高等学校水泳選手権大会（以下、全国高校と記載）  
令和6年8月17日（土）～8月20日（火） 大分県・市営青山プール
- c 全国JOCジュニアオリンピック夏季水泳競技大会（以下、全国夏季JOCと記載）  
令和6年8月22日（木）～8月25日（日） 滋賀県・インフロニア草津AC
- d 日本選手権  
令和6年8月29日（木）～9月1日（日） 滋賀県・インフロニア草津AC  
「2023.24ジュニア国際大会派遣方針」で公開した通り、昨年度日本選手権の結果も参考にする。

3 選考方法

目的	国際大会を経験することを通して、次世代選手を育成・強化するための派遣とする。 代表としての規範を学び、自覚を促すことで日頃からの活動の質を高め強化を促進する。	
目標	複数メダル獲得	
	<p><b>【個人種目】</b> ・表記大会において、下記参考得点をもとに予選・決勝のD.D、合計得点、順位を総合判断し選出する。 また1m飛板飛込は選考された選手の中から出場可能な場合のみ派遣する。 ※強化Rank（区分）上位選手を優先する。 ※次に強化基準D.D達成者を優先する。3rd基準については、c.全国夏季JOCを重視し、a全国中学またはb全国高校の決勝の結果を参考に総合判断を行う。</p> <p><b>【シンクロ】</b> 派遣チーム内で編成できる場合エントリーを行う。</p>	<p>チーム編成（案） 選手8名程度 スタッフ3名程度 （審判1名）</p>

総合判断：メダル獲得に近い選手を選考する。派遣人数枠内で参考点を突破していても、選考しない場合がある。

4 参考

強化基準 (既に公開されている強化基準から対象大会を精査し、条件に※を追記)

※派遣基準ではない

強化Rank 区分	対象大会	条件	内容	男子		女子	
				飛板	高飛	飛板	高飛
トップ	日本選手権	対象大会8位以上で右記基準突破者及び特別推薦者	D.D	自由6種目 18.9	自由6種目 19.2	自由5種目 14.0	自由5種目 14.5
			スコア	359.10	364.80	266.00	275.50
セカンド	日本選手権	対象大会12位以上で右記基準突破者及び特別推薦者	D.D	自由6種目 17.6	自由6種目 18.0	自由5種目 13.4	自由5種目 14.0
			スコア	334.40	342.00	254.60	266.00
サード	Group A 全国高校 全国夏季JOC	8位以上かつ対象年齢上位3名かつ基準突破者 ※主要大会の実績も参考にする。	D.D	自由5種目 14.5	自由5種目 15.0	自由4種目 11.1	自由4種目 11.3
			自由	268.25	268.25	195.36	195.36
			合計	468.30	428.30	395.36	355.36
	Group B 全国中学 全国夏季JOC	※主要大会の実績も参考にする。	D.D	自由4種目 10.6	自由4種目 10.7	自由3種目 8.1	自由3種目 8.4
			スコア	395.60	357.55	349.35	315.00
			D.D	自由3種目 6.7	自由3種目 7.9	自由2種目 4.4	自由2種目 5.2
Group C		スコア	309.60	301.80	269.40	254.40	